

令和5年度 保護者アンケート (7月実施)

回答データ 294人/489人 (60.1%)

城東小学校

評価項目	A よくあてはまる	B あてはまる	C あまりあてはまらない	D あてはまらない
1 子どもは、進んであいさつをしている。	31	49	17	2
2 子どもは、学校へ行くのが「楽しい」と言っている。	48	40	10	2
3 子どもは、「授業がわかりやすい」と言っている。	33	53	12	2
● 4 子どもは、「です」「ます」等のていねいな言葉遣いをしている。	18	43	31	7
5 子どもは、徒歩登校(てくてく登校)をしている。	78	13	5	4
⑥ 学校は、学習のきまり(聞く態度・姿勢・学習用具の準備)の指導を行っている。	63	33	3	1
7 学校は、校内の様子や学習状況等についてお知らせしている。(公文・スクリーン・HP等)	67	29	5	0
⑧ 学校は、子どものことについて、適切に相談に応じている。	54	42	3	0
⑨ 学校は、子どもの努力を認め、よいことをほめている。	61	36	3	0
⑩ 学校は、子どもの発表の場や活躍の場を積極的につくっている。	55	41	4	0
11 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	43	51	5	1
12 学校は、事故防止等の安全対策を行っている。	50	46	4	1
⑬ 学校は、学習環境(施設・設備・花と緑等)が整っている。	55	42	3	0
14 家庭では、子どもの将来の「夢」や「進路」等について話している。	37	45	14	4
15 家庭では、望ましい生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)の定着を行っている。	44	49	7	0
16 家庭では、家庭学習の時間を設定し、学習のチェック(サイン等)をしている。	40	40	17	3
17 学校は、小中一貫教育の取り組みや活動の様子について伝えている。	40	47	8	6
● 18 PTA活動には、進んで参加している。	14	32	38	15

〈考察〉

○ 5～13と15は、AB判定(肯定的な回答)合計が90%を超えている。

○ 最も良い判定を出しているのは、8「相談に応じる」と9「努力の承認と称賛」・13「学習環境」で、AB判定の合計が97%と最も高い。また、6「きまり指導」や10「発表や活躍の場づくり」も96%と高い。

→ 学校の取り組みや先生方の努力等に対して、保護者から認められている。

● CD判定(否定的回答)で最も高いのは、18「PTA活動への参加」で、AB判定を合わせても46%と過半数に満たない。

→ 過去3年間に渡るコロナ禍の影響により、PTA活動の中止や簡素化等が影響を及ぼしている。

行事の精選を行いながら、PTA活動への積極的な呼びかけや活性化を図って行く。

● 18以外にCD判定の合計で30%以上になっているのは、4「ていねいな言葉遣い」である。

→ 学校だけでなく、家庭や地域等においても、ていねいな言葉遣いについて意識づけていかなければならない。

